

関係各位

2016年11月10日

公益社団法人日本プロテニス協会

【 訃 報 】 弊協会名誉顧問 石黒 修 逝去のお知らせ

弊協会名誉顧問 石黒 修 氏は、病氣療養中のところ、2016年11月9日早朝、逝去されました。協会創設者でもあられた氏のご功績に敬意を表しつつ謹んでお知らせいたします。

葬儀は下記の通り執り行われます。

□葬儀について

通 夜： 平成28年11月14日（月曜日）18時～19時

葬儀ミサ・告別式： 平成28年11月15日（火曜日）13時～15時

式 場： 聖ドミニコ カトリック渋谷教会 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町18-13

喪 主： 石黒 実 （ご長男）

※ご香典、ご供花、ご供物の儀 ご遺族の意向により固くご辞退されるとのことです。

後日、公益社団法人日本プロテニス協会として「お別れの会」を執り行う予定です。

※日時、場所等の詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。

[本通知に関するお問合せ先]

公益社団法人 日本プロテニス協会 事務局 TEL：03-5791-1965

所在地： 〒108-0074 東京都港区高輪4-23-8 ZION PLAZA 5F

石黒 修 略歴

氏名：石黒 修 (いしぐろ おさむ)

生年月日：1936年8月12日 (享年 80歳)

逝去日時：2016年11月9日

昭和11年8月12日生まれ。長崎県長崎市出身。

学歴：甲南中学校卒業後、昭和30年 慶應義塾大学入学

- ・昭和33年、昭和35年～昭和41年 デビスカップ日本代表
- ・昭和34年 三菱電機入社
- ・昭和36年 全日本テニス選手権 初優勝 (田園コート)
- ・昭和40年 デビスカップ監督
- ・昭和40年 全日本テニス選手権 全3種目 優勝
- ・昭和44年 指導書「テニス」 刊行 ジュニアから一流選手まで
- ・昭和46年 戦後初の日本人プロ選手転向を宣言
- ・昭和47年 日本プロテニス協会を創設 (創設者4名) 初代理事長に就任
- ・昭和53年 「第1回セイコーワールドスーパーテニス」開催を主導
- ・昭和60年 日本プロテニス協会副会長就任
- ・平成20年 国際テニス連盟 ITF 功労賞 受賞
- 最終役職 日本プロテニス協会名誉顧問

全日本選手権を単複各3度制し、デビスカップやウィンブルドンで世界の強豪と戦ってきたプロテニス界のパイオニア。

全日本ジュニア、全国高校、全日本学生、全日本選手権、全日本ベテランのシングルス全て制し、前人未踏の全日本タイトル36冠の偉業を達成。

全豪、全仏、全英、全米の4大大会でシングルス最高3回戦、ダブルス準々決勝進出。

日本のプロテニス界の基礎を築き、発展させてきた功労者。